

病院ボランティア組織、「萌ぎの会」活動について

高岡市農協婦人部「萌ぎの会」会長 畑 泰子

平成2年、JA高岡婦人部で第1回ふれ愛保健セミナーが開かれることを聞き、参加しました。年6回の研修のうち、敬寿苑のお年寄りとのふれあいがあり、偶然にもわたしの話相手の人が母と同じ名前でした。25年前交通事故で他界した母と顔立ちも良く似ている事から、不思議にお互い涙が出たり、また笑いあったりと、始めて会ったにもかかわらず、心が通じあったように感じました。その時がわたしの人生をかえるきっかけとなり、「50歳をすぎたら何か社会に役立つ人になりたい。」と常に日頃思うようになりました。

平成元年より地元の農協婦人部長ををさせただけ中、婦人部の定例会で農協中央会でホームヘルパー養成研修を行うと聞き、率先して受講させていただきましたが、“何も活動しないのでは、せっかくの研修が無駄になる”と農協の指導員の方々と相談しました。直ぐさまホームヘルパーとして家庭に入るには、まだちょっと自信がないし、高齢者に接する研修をするのなら、やはり同じ農協の病院がいいという意見が多かったのです。そこで、厚生連高岡病院と何回も話し合いを重ね、病院ボランティアとして活動できることに決まりました。

まず、グループの名前を決めようと、若い芽が次々と出てくるの苺り、またわたしたちホームヘルパーの仲間が沢山増えることを願い「萌ぎの会」と名付けました。平成5年4月5日より5名のホームヘルパーが病院ボランティアとして活動を始め、翌年2月には12

名に増えた会員により会則も作り、活動しています。

萌ぎの会会則

目的 この会は、農村の高齢化に対応し、高齢者福祉に対する理解と認識を深め、ホームヘルパー資格を生かしたボランティア活動を通じて安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。

事業 この会は、目的を達成するため次の事業を行う。

1. ホームヘルパー資格を生かしたボランティア活動の実践
2. 高齢者福祉対策活動に関する調査・研究
3. 会員相互の親睦交流のための研修会
4. その他 目的を達成するための事業

会員 この会は、JA婦人部部員で、原則としてホームヘルパー有資格者をもって組織する。

現在は、2級8名・3級9名の17名になりました。平成5年4月の月曜日から毎週一回、10時から約2時間の活動です。3級ヘルパーは、内科外来案内ボランティアです。内科受付で、検査用の採血試験管のシール貼りをしながら出番を待ち、看護婦さんの「お願いしま〜す。」の一声で車椅子の患者さんを心電図・レントゲン・尿検査室へと手際良く案内します。「ありがとう」と返ってくる言葉で、緊張しているお互いが通じ合い、笑顔が浮かび、また、安心されます。院内は広く、戸惑

う高齢者が多く、これからはもっと忙しくなると思います。

一方、2級ヘルパーは、平成6年3月からその資格を生かして、直接患者さんへの介護をする機会の多い病棟での活動になりました。女性の6人部屋を2部屋担当です。「おはようございます。」となるべく明るい声で部屋へ行きます。じっと見ている人。目でやさしく迎えてくれる人。声のでない人。一人一人の顔色を見ながら朝の挨拶に回ります。すすんで床頭台を拭いたり、花の水を取り替えたり、話相手になったり、リハビリへの送り迎え、トイレの介助などいろいろすることがあります。

また、看護婦さんから「今朝からAさんが何も話さないでじっと寝てばかりいるので、何か話かけてあげてね」とお願いされることもあります。そんなときは、今日来たときの道中の景色や気候のことなどを話してあげます。すると、起き上がって少し笑顔で「そうけえ〜」などと言って、昼食もすっきり全部食べられることもあります。また、向のベッドのBさんは「ねえちゃん、帰る前に車椅子でトイレへつれて行ってね」など、今では「ピンクのエプロンのねえちゃん、今日これがんげえ。」と待ってくださいます。

先日、看護部長さんに、わたしたちのさせてもらっている事はこれで良いのか聞いてみました。「看護婦さんたちは、ボランティアの人達の行動力に刺激されて、時間だけ務めるのではなく、心のやさしいゆとりのある仕事ができる看護になりつつあるので、大変うれしく思っている」と話され、心の底からうれしく、活力が一層沸き上がりました。2級研修会するとき、看護部長さんのお言葉に「ころばぬ先の銀の杖になれ」と話された事を、これからも大切に守っていくつもりです。

平成6年度の主な活動

3月 先進地視察（コープ神戸・神戸ラ

イフケア）

- 7月 JA婦人部健康福祉セミナー（長野県佐久・研修センター）
事後研修会…介護研修（厚生連高岡病院）
- 11月 視察研修会（JA入善町・老人福祉施設サンセリテ）
- 12月 手作りクリスマスリースのプレゼント（厚生連高岡病院）

高岡市社会福祉協議会への協力…施設の行事にボランティアとしてお手伝いしています。

- 1月 もちつき大会へのボランティア（長寿苑）
- 3月 在宅障害者との交流会（ダンス・ビンゴゲーム）
- 4月 お花見（車椅子で古城公園へ・長寿苑）
- 5月 遠足（こまどり養護学校）
- 10月 赤い羽根募金運動
秋の遠足（ファミリーパークへ・長寿苑）

ボランティアとは、

1. 自発性 2. 無償性 3. 自分のため、人のためである

と言われます。相手の立場になって見ることの大切さ、そこには自分の見えなかった部分が見えてきます。明ぎの会のボランティア活動を通じて、一人一人違った生き方、考え方があることを知りました。家にいるだけの主婦ではおそらく知り得なかったのではと活動を通して思います。

5名から始まったこの活動も、3年目となり、仲間も17名に増えてきました。これからも病院ボランティアを続けながら、もっと広い視野で、地域の高齢者を支える活動をJAの指導協力を得ながら会員みんなで考えてゆきたいと思っています。